

ハイチ共和国大型ハリケーン被害

TMAT 災害医療活動報告

平成 28 年 10 月 10 日 10:00 (日本時間)

第 2 報 ※以降現地時間で記載

10 月 9 日

6:00 頃 経由地のマイアミに到着。AMDA 松永調整員と合流。

8:30 頃 ハイチ共和国ポルトープランスに到着。AMDA ハイチ支部 Dr.マック氏 (歯科医師) と合流。

10:00 頃 ポルトープランスの宿営地に到着。AMDA メンバーと今後の活動について協議。以下ミーティング内容。

【ミーティング内容】

- ・ハリケーンにより被害を受けたのはハイチの西側地域であり、首都ポルトープランスから片道 6 時間以上かかる。
- ・本日はこのあとハリケーンにより被害を受けた地域の一つ (最も首都よりの被害地域) である、「レヨガーヌ」という地域 (ポルトープランスより西に約 50 km) の調査を行う。また、本日はポルトープランスに宿泊予定。
- ・明日は被害の甚大であった、ハイチ共和国西側の沿岸部 (半島の北側沿岸) の、「ミラグワヌ」、「プティ・トルド・ニップ」、「ジェレミー」という地域に向かう予定。なお明日は移動先にて宿泊予定。
- ・ハイチは治安上の問題があり、単独行動は行わないことの共有がなされた。

※宿泊予定の宿営地はセキュリティが確保されている。(宿舎前に民兵により護衛あり) 現時点での通信状況は良好です。

11:00 頃 ポルトープランスにて情報収集。同市内はハリケーンの被害はなし。途中、2010 年のハイチ大地震の際に活動拠点として支援を行った「L' Hopital de la Communaute Haitienne (ハイチアンコミュニティホスピタル)」を訪問。高力医師は同支援活動の第 2 陣メンバーとして同院にて活動をしている。同院へはハリケーンによる搬送は無いとのこと。

13:00 頃 改めてミーティング実施。

活動の効率性と、明日以降の活動の物資調達を優先と判断し、本日はポルトープランス内にて物資調達を行うこととした。

15:00 頃 物資調達、ポルトープランス市内の調査。

18:00 頃 宿営地到着。本部への報告を行い、本日の活動終了。長時間のフライトのため、十分な休息をとって明日以降の活動に備えます。

※明日は現地時間 10 日午前 7 時 30 分（日本時間 10 日 21 時 30 分）ポルトープランスを出発し、西側半島の北側沿岸地域に向かう予定。（ジェレミーにて宿泊予定）

※WHO（国際保健機構）と PAHO（汎米保健機構）は被災地域で活動を開始しており、主にコレラや公衆衛生のニーズが増加しているとの見解を示している。

※今回の活動は、従来 TMAT が活動対象している外傷中心の緊急医療活動から、慢性期や公衆衛生、感染対策等への支援の可能性についても調査をすることとしています。また国際協力活動豊富な AMDA の活動を通して、今後 TMAT としてできる連携や支援活動についても検討していく予定です。



活動予定地（ハイチ共和国）



AMDA メンバーと合流し活動を協議



今後の活動についてミーティング



ポルトープランス市内



被災地で必要な支援物資を調達



2010年地震支援で活動した病院を
6年ぶりに訪問



2010年の地震当時倒壊していた
大統領府は再建されていなかった

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 T MAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

(文責 事務局 野口 幸洋)